

図書館だより



2020(令和2)年6月16日発行

編集・発行 福島県立図書館

〒960-8003 福島市森合字西養山1番地

TEL 024-535-3218

Fax 024-536-4787

<https://www.library.fks.ed.jp/>



サービス再開のお知らせ



ご不便をおかけしておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のために休止していたサービスを、以下のとおり再開しております。安心してご利用いただけるよう、新型コロナウイルス感染拡大防止のための対策は継続してまいりますので、引き続き皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

《開館時間》 平日 9:30~19:00

土日祝日 9:30~17:30

《休館日》 毎週月曜日 第一木曜日

【ご利用いただけるサービス】

- 資料の貸出 10冊15日間(延長可)
- 資料の返却[総合案内、ブックポスト(24時間開放)送付(送料利用者負担)]
- 利用登録・更新・資料の予約
- 蔵書検索

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、すべての皆様の快適な利用のために、



- ・マスクの着用をお願いします。
- ・入館時に手指消毒を行ってください。
- ・長時間の滞在はお控えください。

【再開しているサービス】

- 席の利用(席数を削減)
- 新聞・雑誌(最新号を含む)の利用
- インターネット・データベース・マイクロリーダーの利用(利用時間1時間延長不可)
- 来館での複写
- 来館での調査相談(対面での長時間の対応は休止)

まほろん 移動展示

福島県文化財センター◎白河館

ふくしま鉄ものがたり

2020年6月5日(金)▶2020年7月1日(水)

場所:企画展示コーナー

福島県域は、かつて日本を代表する鉄生産地であり、発掘調査で確認された製鉄炉の数は300基を超え、全国一を誇ります。今回の展示では、これまでの製鉄遺跡研究の一端を紹介します。

問合せ:福島県立図書館企画管理部

[電話]024-535-3220



館内展示情報 [7月1日(水)まで]

- 【ロビー展示コーナー】色鉛筆と水性ペンのイラスト
- 【時事展示コーナー】ストレスに負けない気持ちづくり!
- 【雑誌展示コーナー】私たちと時間
- 【本のひろばコーナー①】起業・創業にむけて
- 【本のひろばコーナー②】おうち時間の楽しみ方
- 【軽読書コーナー】明日の活力をつくる睡眠
- 【雑誌展示コーナー】私たちと時間
- 【センターホール】古閑裕而展
- 【こどものへや】てんきのえほん
- 【子育て支援コーナー】かずとかたちのえほん



新着案内

各分野の担当者が選んだ、お薦めの新着資料をご紹介します。

人文・自然・社会

『簡易生活のすすめ 明治にストレスフリーな最高の生き方があった!』 山下 泰平/著
朝日新聞出版 2020.2 210.6/¥202

身の回りのものを必要最低限にして生活することで余裕が生まれるミニマリズムが一種の流行となっています。新しい考え方のように思われますが、実は明治時代に海外から日本に入り、大正、昭和初期と、簡易生活と呼ばれて密かなブームとなっていました。物や服だけでなく、手の込んだ料理や無駄な付き合いなども排除。中には、追求するあまり、わざわざ不便な生活を送りだす人も現れますが、少しでも快適で幸せに、より良く生きたいという、人々の切なる願いは今も昔も変わらないと感じさせられる1冊です。

『忍者学講義』 山田 雄司/編 中央公論新社
2020.2 789.8/¥202

黒装束を着て手裏剣を投げ、水の上を歩く一映画やアニメーションなどで描かれる忍者像は、後年に創造されたフィクション。では実際の忍者はどういう存在だったのか?本書は、文系・理系を問わず全学を挙げて忍者研究に取り組む三重大学教員たちの、研究報告です。忍者食を作ってみたり、忍者の動作を科学的に分析したり、狼煙(のろし)の効果を検証したり、それぞれの専門分野の視点から切り込む謎の解明や新発見に胸が躍ります。国際的にも知名度の高い忍者文化、今後のさらなる研究に注目です!

『駅名学入門』 今尾 恵介/著 中央公論新社
2020.3 686.53/¥203

著者は地図研究家の今尾恵介氏。まえがきから著者の地名に対する熱い思いがあふれています。普段、車社会で生活していると、鉄道の駅名を意識することは少ないかもしれません。「駅名って所在地の地名でしょ?」と思っている方も多いかもしれませんが、そんなに単純な話ではない場合もあるようです。駅の命名や歴史的変遷について知ることができる1冊です。水戸と郡山を結んでいる水郡線の話も登場しています。

児童・児童図書研究

『探究に役立つ!学校司書と学ぶレポート・論文作成ガイド』 東京都立高等学校学校司書会ラーニングスキルガイドプロジェクトチーム/編著 ペリかん社 2019.11 375/¥

レポートや論文の作成が必要になった時、何からどう調べ始めますか?この本は図書館を活用して、テーマの決め方や行き詰った時の対処法など、みなさんの困り事・悩み事に応えるためのガイドブックです。中高生向けの本ですが、大人の方でも「調べ方」の教科書として読むことができます。また学校現場で働く教職員の方にもおすすめです。

雑誌・新聞

新しい情報は、書籍よりも雑誌・新聞の方が早く得ることができます。新型コロナウイルス関連の情報も次々と更新されています。最新号以外は借りることができます。ぜひ、ご利用ください。

『エコノミスト』第98巻21号, 通巻4652号,
2020.6.2日号 Z/330.5/E1

『緊急提言 コロナ危機の経済学』

『科学』第90巻第6号, 通算1054号,
2020.6月号 Z/405/K2

『新型コロナウイルス感染症と科学的助言』

『Newton』第40巻第8号, 通巻468号,
2020.7月号 Z/405/N1

『既存の薬を転用して「新型コロナ」の治療をめざす』

『日経サイエンス』第50号第7号, 通巻589号,
2020.7 Z/405/S3

『COVID-19パンデミック』

『食べもの通信』No.592, 2020.6月号 Z/498.5/T1
『シリーズ コロナ危機から命を守る〈1〉』

『日経パソコン』第842号, 2020.5.25 Z/548/N1
『はじめてのテレワーク』

『農業経営者』第28巻第6号, 通巻第291号, 2020.6
Z/611.7/N1

『特激震!新型コロナウイルス② 農業者の「切実」』

地域

『福島で酒をつくりたい 「磐城壽」復活の軌跡』
上野 敏彦/著 平凡社 2020.2 LS588.5/U1/1

浪江町請戸地区で江戸時代から酒造業を営んできた酒蔵、鈴木酒造店のドラマを追った1冊です。漁港のすぐ脇に構える蔵で醸す「磐城壽」は、漁師町の土地に根差した酒で、地元の人々に愛されてきました。しかし2011年3月の東日本大震災による津波で蔵は全壊、原発事故のため一家は県外への避難を余儀なくされました。酒造りの資料や機材も蔵ごと流され失いながらも、山形県長井市に移り、酒造りを続けてきました。酒が結びつける人と人との絆が印象に残ります。

『嫌ダツと言っても愛してやるさ!』 遠藤 ミチロウ/著 筑摩書房 2019.10 LA767.8/E1/4

2019年4月に膀胱がんがんで死去した、二本松市出身、元祖パンクロックバンド「ザ・スターリン」の遠藤ミチロウ。東日本大震災後には大友良英、和合亮一とともに「プロジェクトFUKUSHIMA!」を立ち上げ県内でのライブにも多数参加しました。彼のバンド初期のころからのエッセイ集の文庫改定版が出版されました。今回の文庫化に際しては、楽曲の歌詞や、詩、未収録エッセイ「父が死んだ」ほかにも収録。過激なパフォーマンスの中にも真実を追及する彼の哲学を振り返ることができる1冊です。